

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			所管課			消防本部			担当班	警防課
コード 33200 消防広域化・共同化基盤整備事業			会計 一般			款 9 項 1 目 1			事業種別	
基本施策 30 消防力の強化			根拠法令 地方自治法の協議会(第252条の2の2)						☒ 主な事業 ☐ 国土強靱化地域計画 ☐ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業	
施策の展開 58 常備消防体制の充実			戦略事業 258 消防広域化の整備							
施策の展開			戦略事業							

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・共同指令センター（20消防本部）及び県域一体の消防救急デジタル無線機の維持管理を行う事業。 共同運用を行うことで高機能の機器により迅速的確な119番通報の受信指令を行うとともに、各消防本部の連携及び情報の共有化、隣接地域や大規模災害時の相互応援体制の充実強化を図る。 ※共同指令センターとは、各消防本部が共同で設置した機関であり、119番通報を受信し管轄消防本部の消防隊・救急隊等へ出動指令や現場活動の支援などを行うセンター。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
平成25年度に千葉市に共同指令センターが設置され、広域化、共同化の推進が進んだ。 ・最新の通信機器の導入により迅速的確な対応が可能 ・災害時の相互応援体制の充実強化		・各消防本部の規模、部隊運用などに相違があり検討事項の協議が難航。	・特になし

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位: 千円
1. 共同指令センター負担金	13,260	共同指令センター運用経費
2. 消防救急無線設備維持管理負担金	4,783	消防救急デジタル無線機維持管理経費
3. 消防防災用備品費	0	
4. システム改修委託料	3,218	車両端末の地図データ更新
5. その他	0	
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位: 千円
1. 国庫支出金	0	
2. 都道府県支出金	0	
3. 地方債	0	
4. その他	0	

費目内訳	事業費	事業費計 (A)						
		千円	20,747	22,610	18,328	21,261	19,534	
事業費	財源	1. 共同指令センター負担金	千円	12,218	13,141	13,545	13,260	14,544
		2. 消防救急無線設備維持管理負担金	千円	4,783	4,784	4,783	4,783	4,990
		3. 消防防災用備品費	千円	0	4,685	0	0	0
		4. システム改修委託料	千円	0	0	0	3,218	0
		5. その他	千円	3,746	0	0	0	0
		事業費計 (A)	千円	20,747	22,610	18,328	21,261	19,534
		1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
		3. 地方債	千円					
		4. その他	千円					
		5. 一般財源	千円	20,747	22,610	18,328	21,261	19,534

前年度増減理由	緊急消防車両の地図データの更新を行ったため
---------	-----------------------

従事職員数	常時	1人	最大	2人	×	25日	=	延べ	50人
-------	----	----	----	----	---	-----	---	----	-----

前年度増減理由	緊急消防車両の地図データの更新を行ったため
---------	-----------------------

従事職員数 常時 1 人 最大 2 人 × 25 日 = 延べ 50 人

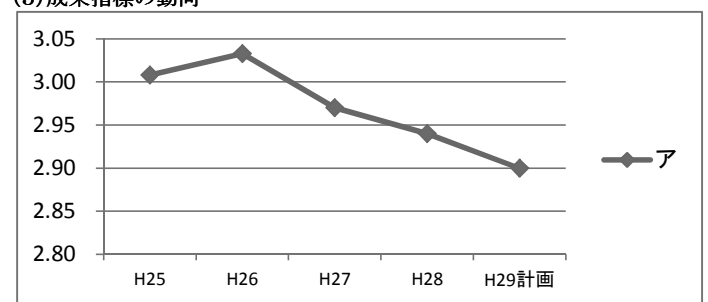
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) ・共同指令センター運用に伴う協議会 ・旭市管内119番通報受信		ア 年間119番通報受信件数(1～12月)	件	3,211	3,392	3,779	3,632	3,400
			イ 年間救急出動件数(1～12月)	件	2,819	2,678	2,786	2,888	2,800
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象 市民 意図 迅速的確な対応、活動を受けることができる 対象意図		ア 救急出動の覚知～出動の平均時間(1～12月)	分	3.01	3.03	2.97	2.94	2.90
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通		⑤	
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤		(8)	
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減＝成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下 ☐ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					ア 24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 29計画 Δ 0.28 0.02 Δ 0.06 Δ 0.03 Δ 0.04 イ
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容		今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
		耐用年数に伴う部分更新の必要な機器を精査する。		定期的	共同指令センター運用に伴う協議会	